



《こども版》 としょかんだより No. 320

2011年

3月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

### 「てんぐのそばまんじゅう」(えほん)

深山 さくら / 作 ひさかたチャイルド



ある晩、じいさまとばあさまの家に、かむろ山のとんぐがやってきました。足のほねをおって、山をおさめることができないといいます。ばあさまが、せんじぐすりやおかゆを作ってせわをすると、元気になり、お礼にみつぶのそばの実をおいていきました。

### 「ふしぎなのらネコ」

くさの たき / 作 金の星社



さきちゃんは、妹や友だちとけんかをしてたいてしまいました。ある日、こうえんにいたのらネコから“ゆっくりでいいから気持ちを言葉でいってみたら”と、言われます。ふしぎなネコと出会い、やさしい女の子になっていくお話です。

### 「カティーにおまかせ！」

マイリー・ヘダーウィック / 作 文研出版



しまばあちゃんの家で、ポニーのエスカがやってきました。カティーは、早くエスカにのりたくて、毎日馬小屋のそうじや世話をしました。でも、ばあちゃんは「まだまだ」といつてのせてくれません。つまらなくなったカティーは、エスカのせわをやめてしまいます。

# あたらしくはいった本

## えほん

「おかのうえのギリス」(えほん) マンロー・リーフ/作 岩波書店



スコットランドにすむ少年ギリスは、しんせきのある谷間の村と山の村をいききしてくらしています。大声で牛をよんだり、いきをこらえて狩りをするうち、ギリスの肺はどんどんつよくなりました。ある日、音がでないバクパイプをもった男と出会ったギリスは、おもいきりいきをすいこみ、ちからをこめて楽器をふいてみました。

## ものがたい

「ジジのエジプト旅行」

ラッセル・オスファテール/作 文研出版

お休みの計画をきかれたジジは「エジプトに行く」と、おもわずうそを言ってしまいました。おまけに、クラスで発表することになり困ってしまいます。そんなジジに、悪友モーがエジプトに行ったように証明できるアイデアを教えてくださいました。さて、どんな方法なのかな！



## ことばであそぼう！ せかいの早口ことば

世界の早口ことば、その国のことばのとくちょうや、ことばのリズムがわかり楽しいよ。みんなも、大きな声でいってみよう！

- ・『チョコレート チップ クッキイズ イン ア カパア コーフィ カップ』（アメリカ）  
（日本語の意味）銅のコーヒーカップの中のチョコチップクッキー。
- ・『フィッシャーズ フリッツェ フィッシュトゥ フリッツェ フィッシ  
フリッツェ フィッシ フィッシュトゥ フィッシャーズ フリッツェ』（ドイツ）  
（日本語の意味）つり人フリッツェは、新鮮な魚をつっている。

新鮮な魚をつっている、つり人フリッツェが。

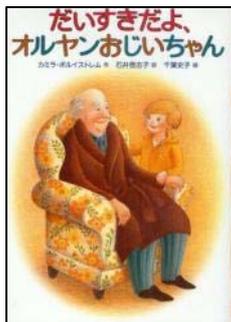


「世界のことばあそび 世界の早口ことば・数え歌・回文」(旺文社)より

## ものがたり

### 「だいすきだよ、オルヤンおじいちゃん」

カミラ・ボルイストレム / 作 徳間書店



オルヤンは大好きなおばあちゃんに会いに、老人ホームろうじんに行きました。そこで、自分と同じ名前のおじいちゃんと出会います。足の悪いおじいちゃんをよろこばせようと、オルヤンとおばあちゃんは、車イスにのせてこっそり外に連れ出しました。

### 「たれ耳おおかみのジョン」

きむら ゆういち / 作 主婦の友社

犬のジョンは、おおかみにあこがれています。ある日、人間たちからむれを守ったことで、おおかみの仲間に入れてもらいました。しかし、ジョンを気にいらぬおおかみのガス、ガロ、グロ、ゲロは悪ちえだくみをしかけてきます。ジョンは、知恵ちえを使って次々と問題を解決かいけつし、おおかみのボスになっていきます。



### 「ひぐれのお客」

安房 直子 / 作 福音館書店

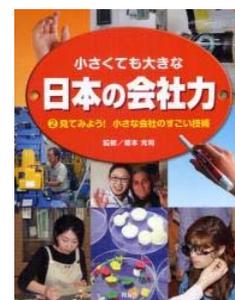


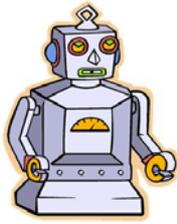
裏通りうらどおにある山中さんのお店に、「薪ストーブの火の色の、赤い裏生地うらをください」と、まっ黒なマントをきた黒いネコがやってきました。山中さんは、七種類ななしゅるいの絹の赤い裏生地きぬを見せてあげます。ネコは、裏生地のはしっこをなめたり、においをかいだり、耳をつけたりしながら裏生地を選び始めました。

## ちしきの本

### 「小さくても大きな日本の会社力 見てみよう！小さな会社のすごい技術」 同友館

じんこう 人口430人の町で手づくりの義手ぎしゅや義足ぎそくを作っている会社、世界一はぐるま小さな歯車かいはつを開発した会社など、写真を使って紹介しています。どれも小さな会社ですが、独自の技術どくじで製品せいひんを作り世界各地へ送り出しています。大きな会社に負けない、すばらしい技術をもった会社を知ることができます。





名作をよもう!

今月の1さつ

「ロボット・カミイ」

古田 足日 / 作 福音館書店

カミイは、たけしとようこがダンボールで作ったロボットです。わがままで泣き虫のカミイは、女の子から“ちびぞう”のぬいぐるみを取り上げたり、ようちえんではげきをめちゃくちゃにしたりと、みんなをこまらせます。でも、いつもカミイは「ぼく、すこしもわるくないもん」と、いばっています。

ある日、とっしんしてきたダンプカーから子どもたちを助けたカミイは、ぺっちゃんこになってしまいました。



## とやまし あ・れ・こ・れ

### ますの寿司



“ますの寿司”は、今から約300年ほど前、富山で作られました。富山藩のけらい吉村新八が、あゆで作ったお寿司を、お殿様にさし

あげたのが始まりと言われています。江戸の8代将軍吉宗におくり、たいへんおいしいとほめられ、以後富山名物となりました。

丸い入れ物の中に、真っ白いすし飯と、桜色のますが、緑色の熊笹でつままれています。駅弁としても有名ですね。

図書館には、春のお話がいっぱいあるよ。読んでみてね!



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272